

# AI経済検討会／データ専門分科会

## AI経済検討会

AIの社会実装の推進により、どのような社会経済を目指すべきか、基本的な政策や中長期的な戦略のあり方について検討

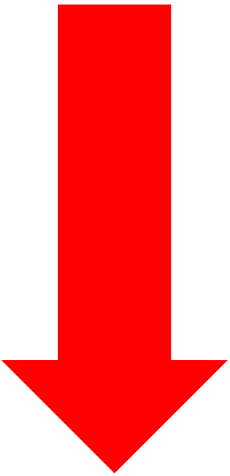
## データ専門分科会

AI時代のデータ経済政策に係る専門的・技術的事項について検討



2019年1月 AI経済検討会 設置

2019年5月 AI経済検討会「報告書2019」公表



2019年12月 データ専門分科会 設置

2020年7月 AI経済検討会「報告書2020」公表

- AIの社会実装のために求められるデータ活用の在り方
  - AI時代のデータ経済政策
- 等

2020年11月 OECD（経済協力開発機構）において、報告書2020の成果を発表



引き続き、データの経済価値・インパクトについて検討

## AIの社会実装のために求められるデータ活用の在り方

### <企業において求められる取組>

- データ・AIを経営戦略やビジネスアーキテクチャの中で位置づけること
- データ活用の前提としてのフィジカルなデータの収集体制、データ活用の組織体制及び組織内データ基盤を構築すること
- 顧客等データの現行法への対応を行うとともに、データを提供する消費者の不安感を解消又は軽減すること

### <行政において求められる取組>

- デジタル・ガバメントの取組を加速化すること、
- オープンデータカタログサイトDATA.GO.JPやe-Stat等の公共データの民間利用機会の促進を図ること

## AI・データの利活用促進に向けた政策の在り方

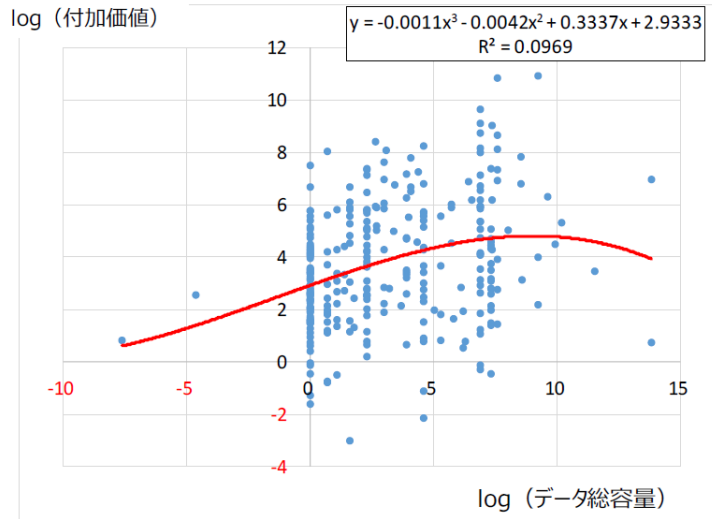
- 中小企業や地方企業に対するAI・データの利活用推進に向けた官民による支援
- AIなどの新技術に対する正しい理解についての官民による啓発活動
- AI・データの利活用を促す制度の見直し
- 「コロナ後」の社会を想定したAI・データの利活用推進 等

# 更なる検討に向けて

## AI時代のデータ経済政策に資するエビデンス蓄積

「新たな資産」としてのデータの機能・役割を及び効果・価値の測定方法を検討

図表 28：対数値をとったデータ総容量と付加価値との関係



企業へのアンケート調査、ヒアリング等を通じ、  
データの経済価値についての調査・分析を精緻化

- 活用するデータの属性
  - データを活用する領域
  - 内部・外部データの別
- といった側面を更に深掘りして、データ企業にもたらす付加価値を生産性の計測手法を用いて算出する試みを行う

AIネットワーク社会推進会議 AI経済検討会 報告書 2020 P32

## データ取引の市場化・可視化に向けて取り組むべき課題

- AIに活用するデータ取引に係る契約フォーマットの標準化
- 第三者による企業保有データ管理の必要性
- 第三者による個人情報管理の必要性（情報銀行のポテンシャル） 等

# 重要な論点

## ■ データの経済的価値・インパクトの測定

- ✓ 経済界・企業として、どのような形で定量的にデータの価値・インパクトを示されることを望むか（この取組に期待することは何か）。
- ✓ データの価値・インパクトの分析が、データ利活用の促進に与える意義。
- ✓ データ利活用の潜在的な価値。
- ✓ 日本から国際社会に発信する意義。

## ■ 信頼ある自由なデータ流通に向けた環境整備

- ✓ 信頼ある自由なデータ流通に向けた課題。
- ✓ 企業あるいは市場において、データ利活用を妨げている要因。
- ✓ 現に、データ利活用に当たって、留意している事項
- ✓ 課題解決、要因解消のために、誰が、何をすべきか。